

クツ…ドジ…たデス…ツ  
みんなを助けるハズが  
あたしまで…ツ

変態…ツ

逃げる隙きが…  
何をされても  
耐えるんデス…ツ

フフ…  
実にいい眺めだよオ  
イガリマの装者くん

恥ずかしい格好で  
身動き一つ  
取れない気分は  
どうかなア♥

調たちを  
返すんデス…ツ!

お友達よりも  
自分の心配を  
したほうがいいぞオ

今から行う  
実験の数々に  
君の体と意識は  
耐えられるかなア♥

キーン

キーン

キーン

キーン



ほらほら君の身体  
シワの一本一本まで  
触り放題だよオ♡

くっ……!

この程度……ッ  
なんとも無い……ッ  
好きにするデスッ!

ふう……ッ!

こんなところ  
人に触らせたことは  
ないでしょうなア♡  
我々が初めてですぞ♡

ホッホ……♡  
ならお言葉に甘えて  
好きに実験させて  
もらおうかのオ♡





あはははははっ

やっやめっ！

きゃはははははっ！

ギョッ

おやおや  
こんな状況で  
笑っていられるとは  
余裕ですなア

おじさんたちと  
遊ぶのが楽しいのかな  
まだまだ子供だねえ

ではいっぱい  
くすぐって  
あげましょう

ギア装者の  
精神強度を  
実験せねば♡

くすぐる

くすぐる

くすぐる

くすぐる

くすぐる

ギョッ

くすぐる

くすぐる

ギョッ



まだ5分も  
くすぐつておらんのに  
息があがつてるのオ

その気になれば  
ワシらは何時間でも  
くすぐり続けられるぞ  
ヒビヒツ♡

これでは  
これから始まる  
実験に耐えられそうに  
ありませんなあ

くツ…あたしの身体  
好き放題にされて…  
抵抗できない…ツ

こつこんなの…  
耐えられるわけ  
ないデス…ツ

イガリマの  
装者くん  
選り給え

死ぬほど苦しい実験か  
死ぬほど痛い実験か  
それとも死ぬほど  
気持ちいい実験か

そんなの…ツ

クク…♡  
「好きにしろ」とは  
もう言えないじやろ？  
安心せい…気持ちよオク  
してやるからのう♡

ハハ♡

ハハ♡

ふうっ…

ふうっ…



なっ何を  
塗ってる  
デスかつ……!

もちろん  
気持ちよくなれる  
薬だよオ♡

全身が性器のように  
敏感になるのだよ♡

あっ……♡

ぞくっ♡

くっ……♡

身体が……  
熱くなつて来た  
デス……ツ!!

やめ……る  
デス……ツ!

シワの一本一本  
丁寧に塗り込んで  
やるからのオ♡

大事な所は  
最後のお楽しみじゃ  
ホッホッホ♡





それから何日もの間  
薬品を身体に  
塗り込まれる  
日々が続き――

そろそろ  
頃合ですな

おやおや愛液が  
滴り落ちていきますッ

触ってほしい場所  
があるので  
無いかねエ？

はあ…ッ♡

はっ…♡

トキッ♡

バキッ♡

痒いような熱いような  
チリチリとした快感が  
全身を包み  
腹の奥へと繋がっていた

そんな…とこ…ッ  
あるわけ無い  
デス…ッ！

ほう…♡  
では今日は強めに  
薬の塗布を  
行いましょう♡

待つ…待つデスッ  
今触られたら…ッ  
くっ来るなデスッ！！

ガッ♡

ガッ♡

ハッ♡



あつ!?

やつやめツ♡

全身性感帯になってくすぐられる気分はどうだね♡

マチュ マチュ♡

ほれイケ♡  
我慢せずイッてしまえツ♡

こちよ♡

こちよ♡

ほっほ♡  
恥部を触らずとも潮を吹いて果てるとは♡

うああああッ♡

こちよ♡  
こちよ♡

こちよ♡  
こちよ♡

さわ♡  
さわ♡

フッ♡  
フッ♡





それから何日もの間  
休むまもなく  
媚薬の塗布は続いた

目隠しをされいつどこかを  
触れられるともわから無い  
状態で何日もの間

くすぐりによる  
恥辱の絶頂が続く

しかしその手は  
恥部に触れることは  
一度もなかった





クク…ようやく  
淫紋が浮かんで  
来ましたな

媚薬による  
ナノマシン投与で  
絶頂を増幅・管理  
できるのだよオ

絶頂抑制が  
精神に及ぼす影響の  
観察を初めますぞ

やっとの思いで耐えても  
また次の拷問が…ツ  
調…あたし…どうすれば…ツ

どうしても  
耐えられなく  
なったら  
懇願したまえ

恥ずかしい  
本気アクメさせて  
あげるからねエ♡

ブルブル…ツ♡

はひツ♡

くぐぐ…♡

ガ4

ガ4

ツツ♡

ん…♡

リッ♡

すわすわ

ブルブル

ん…♡

ん…♡

ん…♡



絶頂を抑制された状態での愛撫が  
数日の間休むまもなく続けられた

気が狂うほどの行き場のない快感が  
下腹部に蓄積し彼女を苦しめる

男たちは彼女が屈服するのを  
今か今かとニヤニヤ鑑賞していた

全身を性器のように敏感にされ  
最早わずかに残された羞恥心だけが  
彼女の最後の砦だった





そろそろ限界だろう  
イガリマの装者くん♡

我々にお問い合わせ  
したまえ♡

触って  
ほしいところが  
あるだろオ?

最早君の身体は  
愛撫による刺激がないと  
疼いて苦しいハズだ

気持ちいいところを  
たつぷり愛撫しながら  
絶頂抑制を解呪して  
あげるぞオ...♡

ひっ...♡

くっ...♡

あ...あたしは...ッ  
負け...ない...ッ

ホオ...♡  
流石の精神力ですなあ  
ならばこれでどうかな...♡







ほれ♡

あッ

ズカッ

あああああッ♡

カッ♡

カッ♡

ズカッ

カッ♡

カッ♡



爪先で触れただけで  
針で刺されたような  
鋭い快感が恥部を襲った

彼女の意に反し身体は  
その快感を求めて疼き出す

それにより

子宮は心臓のように脈打ち  
自ら甘い快感を生み続け  
絶頂へのループが生まれるが  
淫紋によりそれには至らない

耐えれば耐えるほど  
恥部の疼きは激しくなり

まるで限界まで尿意を  
我慢しているかのような  
抗えぬ生理的欲求に  
思考が支配され

一時間を耐えたところで  
ついに彼女は——懇願した





もっもっもっ……ッ

限界デスツ!!

触ってくださいっ

もうこんなの  
耐えられないデスツ!!





ほっほっほ♡  
どこを触って欲しいのか  
言ってくれないと  
わかりませんぞオ♡

はうう…ツ  
あつ…あそこ…と  
胸のさきつぽデス…ツ♡  
早くう…ツ♡

オラツはつきり言えツ  
オマンコとチクビで  
イカせてくださいと  
お願いしろツ!

う…うううツ

おつオマンコと  
ち…ツチクビでえつ

イカせてください  
デス…ツ!!

はははははッ♡

堕ちましたぞオ♡

キヒヒヒヒ♡

懇願されては仕方  
ありませんア♡

ヒク ヒク

ブル  
ハカハカ

ブル

ガチ

ガチ

ブル



ほれほれ  
覚悟は良い  
かなア？

あまりの快感に  
壊れてしまう  
かもしれないなあ

あっ

ちやうど...♡

あ...っ

5

4

3

2

ああ...っ!!

1





あッ♡

ほれほれ  
脳天弾ける  
三点責めじや♡

まだ絶頂は  
させないぞオ♡

気持ちいいのに  
イケなくて  
苦しいねえ♡

この快感を  
あと1時間淫紋に  
蓄積してやろう♡

うああああッ♡

やああああッ♡











あ...ッ



淫紋の解放とともに  
蓄積され増幅された快感が全身を駆け巡り  
およそこの世のものとは思えない  
究極の絶頂が彼女の肉体を襲う

脳が灼けるような  
鋭い快感にメツタ刺しにされ  
あられもない形相で  
下品な嬌声を響かせる彼女は今  
未だかつて感じたことのない  
幸福感に包まれていた





今日も第6実験室から  
心地よい歌声が  
聞こえてきますなあ

他の装者と比べて  
彼女は堕ちるのが  
早かったのう

イチイバルの装者には  
手こずったが肛門調教で  
いとも簡単に堕ちたのは  
見ものでしたぞ

快楽で壊れかけた  
精神は反抗心や羞恥心を覚える  
程度には回復させるのだ…  
廃人では価値が無いからなア

左様…この調教を経たものは  
我々から逃げたいと思っても  
その脚は言うことを聞かぬ…  
ここでしか得られぬ快感の虜じや

反抗心を持ったままの  
忠実な性奴兵士を製造するのが  
我々の実験目的なのでな  
ククク…♥

